

# Information

## 会報誌が届いていない卒業生をご存知の方へ

愛知産業大学造形学部・経営学部を卒業したのに会報誌が届いていないという方をご存知ありませんか。会報誌が転居先不明などで届かなかった場合は、次回からの会報誌発送を止めています。もし、届いていないという方をご存知でしたら、ご本人様から、現在の連絡先を本誌連絡先までお知らせいただきますようお願いいたします。



PC / 携帯共通

<http://www.asu-mate.com>

## 役員・常任役員の募集

校友会とは、母校と卒業生とのネットワークづくりや、親睦を深めるための活動を目的として発足された団体です。運営は卒業生各期の代表である役員と常任役員が行っています。役員は年に1回以上、役員会にて計画された校友会活動についての決議を行います。常任役員は、校友会活動の計画と実際の運営を行います(現在は、メーリングリストにて活動中)。

特に、造形学部建築学科生と経営学部生の役員を募集中です。参加ご希望の方は、下記までご連絡ください。また、役員とあわせて、活動にご参加いただける有志の方の募集も行っておりますので、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

## 連絡先

〒444-0005  
愛知県岡崎市岡町原山12-5 愛知産業大学 校友会  
fax:0564-48-7756 mail:info-koyu@asu.ac.jp  
※スタッフ常駐ではないため、なるべくメールでのご連絡をお願いします。

愛知産業大学 校友会会報誌 ASU communication vol.09 2011年9月12日発行

平成23年度校友会総会 | 日時：平成23年10月23日(日)12:30~13:00 場所：愛知産業大学 コミュニティホール前 バスロータリーステージ

第19回原山祭開催日(2日目)に行います。実施内容は、平成22年度活動報告と平成23年度活動計画。同日、校友会主催のイベントもご用意していますので、卒業生の皆様や教職員の方々ぜひご参加いただけますようお願いいたします。

○10月23日(日) 校友会総会 12:30~13:00 校友会の活動報告を行います。詳しくは、校友会webサイト(<http://www.asu-mate.com>)  
卒業生の皆さま「コミュニティホール前 バスロータリーステージ」にお集まりください。(PC/携帯共通)でアナウンスしています。



## 会員の活動を支援します!

愛知産業大学校友会では後援事業として、卒業生数名が主催して自主的に行うグループ展や、卒業生を対象とした講演会、研修会、非営利事業などの企画に対して、ある程度の費用を支援します。ただし、校友会の後援事業として適切であるか審査を行います。

## 後援の申請方法

申請方法や申請に必要な書類は、メール(下記アドレス)にてお問い合わせください。

連絡先：info-koyu@asu.ac.jp



# ASU communication

愛知産業大学  
校友会 会報誌  
vol.09

## contents

- 02 - Message from ASU
- 04 - Message from ASU Communication
- 06 - HARAYAMA Festival
- 08 - Voice of OB・OG
- 14 - Information

## 校友会からのごあいさつ

東日本大震災にて被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。本会におきましても被災地域にお住まいの数名の会員に安否確認をさせていただき、大小の被害はあるものの皆様が無事であることが判りました。安否確認にご協力いただきました皆様に感謝いたします。さらに、校友会では、今回自宅の全壊などの大きな被害に

あわれた会員に対して復興支援金を用意させていただきました。さて、今年も多くの会員(卒業生)と新しい役員を校友会に迎えることができました。普段の仕事と校友会活動の両立はタイトな面もありますが、母校の盛り上げをテーマに一丸となって活動してまいりますので、皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

## 【東日本大震災被災会員への対応について】

### 対応報告

3月17日より、校友会顧問・後藤先生の助言により、安否確認を実施しました。名簿管理と委託している株式会社サラトに対し、被災地域に該当する会員の連絡先リストを無償提供していただきました。mixi愛産大コミュニティに安否の情報提供、安否確認の往復ハガキを投函しました。現7月時点では、宛先不明による返送はなく、半数の方(や家族の方)から「無事」の返信が届いています。また、常任役員から、新たな会員の被災情報があり、支援金を支給しました。

### 被災会員への支援

住居を失い、避難生活を余儀なくしている、校友会が把握する正会員に対して、校友会費から支援金を支給します。  
・お見舞い ¥50,000円、復興支援金 ¥50,000円を支給。

## 【先生方の異動情報】

退任された先生方、在任中の熱心なご教授ありがとうございました。感謝の気持ちを込めて紹介させていただきました。

■2010年度にご退任  
要 真理子…造形学研究科准教授  
威知 謙豪…総合経営学科講師  
法雲 俊栄…総合経営学科講師

■2011年度にご就任  
杉山 奈生子…造形学研究科准教授  
中村 昭典…総合経営学科准教授  
小竹 直子…総合経営学科講師  
(留学生別科担当)

## 【サークル活動 2010・2011年実績】

### ■女子柔道部

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会出場  
第63回熱田神宮奉納柔道大会 3位  
第18回東海学生女子柔道優勝大会 2位  
愛知県女子柔道選手権大会 3位、4位  
岡崎市民柔道大会 優勝、2位  
第7回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会 3位  
女子柔道部 web サイト  
<http://www.asu.ac.jp/judo-girls/>

### ■ボクシング部

第50回中部学生ボクシング選手権大会 個人3位

### ■ゴルフ部

ゴルフ部卒業生から、プロゴルファーが誕生しました。  
三好カントリー倶楽部 宮本 唯さん  
コココーラセントラルジャパン杯愛知県学生ゴルフ選手権  
男子・優勝、女子・5位タイ  
第48回全国大学ゴルフ対抗戦 17位  
第14回愛知県アマゴルフ選手権 優勝  
中部学生ゴルフ春季1部学校対抗戦 最優秀選手  
第49回中日杯争奪中部学生ゴルフ選手権 優勝  
第3回文部科学大臣杯争奪全日本大学・高等学校  
ゴルフ対抗戦 男子の部 38位タイ、64位  
第38回会長杯争奪中部学生ゴルフ選手権競技  
2位タイ、5位タイ、7位タイ  
第57回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権 61位タイ  
第13回朝日杯争奪日本女子ゴルフ選手権 34位タイ

### ■男子バレーボール部

東海春季2部リーグ 3位  
愛知県春季2部リーグ 2位  
東海大学バレーボール選手権 ベスト16  
西日本大学バレーボール選手権出場  
男子バレーボール部・後藤研究室  
<http://www.asu.ac.jp/hgoto/>

### ■硬式野球部

春季リーグ戦2部 3位  
硬式野球部 web サイト  
<http://www.asu.ac.jp/baseball/>

この他にも、  
26のクラブ・サークルが活動中です。



MESSAGE  
FROM  
ASU  
communication

校友会の役員になっている卒業生色々と参加・協力している卒業生、在学生、教職員など愛産大を盛り上げるべく、日々活躍中の皆様を紹介していきます。

1. 造形学部／建築学科／01A107／宇野研究室／10期
2. 金刺 健太 (かねざし けんた)
3. 愛知県 岡崎市
4. イベントディレクター
5. 校友会幹事長、企画事業担当
6. 母校への恩返し  
大学の先生に声をかけられて
7. 卒業生が集まりやすい大学にしたいです!!



1. 造形学部／デザイン学科／05D008／岩田ゼミ／16期
2. 植松 徹 (うえまつ とおる)
3. 愛知県 愛知郡 東郷町
4. 漫画家志望
5. 校友会幹事補佐役
6. 大学先生の熱い勧誘
7. 僕も含め、年食うとどうしても堅実になりがちかなと感じます。やらなくても身体壊しても無茶した方が人は笑えると改めて気付きました。笑顔が好きです。



1. 造形学部／産業デザイン学科／92D309／杉田ゼミ／1期
2. 門井 由佳 (かどい ゆか)
3. 愛知県 名古屋市 千種区
4. 広告代理店 クリエイティブディレクター
5. 校友会副会長、広報事業担当
6. 母校教員の卒業生に誘われました
7. 職業柄、校友会の広報物を担当したり、校友会運営のための面倒見役をしています。自分のスキルを活かしたり、大学に貢献できたり、卒業生たちや先生と繋がりができたり、大学祭が楽しかったり…もっと沢山の人の関わってほしいです。



1. 造形学部／産業デザイン学科 佐々木研究室／3期
2. 宇佐美 良太 (うさみ りょうた)
3. 名古屋市 瑞穂区
4. WEB制作会社経営
5. 校友会サイト更新など
6. 校友会サイト管理などを前任者からの引継ぎとして
7. 面白い事をやっている卒業生、結構いると思いますよ。

MESSAGE  
FROM  
ASU  
communication

1. 学部/学科名/学籍番号/ゼミ名/卒業期 2. 氏名 3. 現在住んでいる地域 4. 職業 5. 校友会に何の役割で関わっているか 6. 校友会に関わったキッカケ 7. 愛産大の皆に一言など

1. 造形学部／デザイン学科／04D219／13期
2. 内藤 萌 (ないとう もえ)
3. 愛知県
4. 自営業
5. 会計幹事
6. 先輩に誘われて。卒業してもみんなと何かしたいなと思っているので。
7. 大学生生活はあっという間だったけど、卒業しても校友会で先輩や同級生と何やらできるので楽しんでいます。今年も何やら楽しみです。



1. 造形学部／産業デザイン学科／98D118／杉田ゼミ／7期
2. 吉田 麗 (よしだ れい・旧姓は谷村)
3. 広島県 廿日市市
4. グラフィックデザイナー
5. 会議に参加、学祭「たまりバー」のアシスタント
6. 仕事に行き詰まり、解決のヒントがないか大学に立ち寄ってみたところ、交友会役員の先輩に再会し、先輩のお手伝いをする事で、交友会に関わっていきました。
7. 在学生も卒業生も、愛知産業大学の価値を最大限まで生かして、生涯、学ぶのがいいと思う。



1. 造形学部／産業デザイン学科／92D429／松谷ゼミ／1期
2. 森本 達也 (もりもと たつや)
3. 愛知県岡崎市 (兵庫県丹波市出身)
4. 愛知産業大学 実習棟 (モデリングスタジオ) 技術指導員
5. 幹事
6. 卒業後、故郷の兵庫県で働いておりましたが、2005年に母校へと転職したことがキッカケです。
7. 愛産大が、たまらなく好きです。卒業して何年経っても愛する母校には自分の居場所がある。そんな場所にしたいくないですか？



1. 造形学部／産業デザイン学科／94D224／佐々木研究室／3期
2. 廣瀬 伸行 (ひろせ のぶゆき)
3. 愛知県岡崎市
4. 通信教育大学講師
5. 会計
6. 学内にいたところを、当時の学生課部長に声をかけられ、校友会の立ち上げの準備等をしているうちに定着していきました。

7. 学生時代を振り返れば、ノンアクティブだった自分を後悔するところがあります。世の中に対して自分の視野がどれほどのものか試すことのできる時間でもあり、楽しいと思う事を存分にできる時間です。何でも興味を以て視野を拡げ、アクティブに学ぶことの楽しさを感じたいですね。



2011

愛知産業大学 大学祭

第19回

# 原山祭

2011  
10/22(土)・23(日)  
10:00~18:00

### 原山祭実行委員より

今年も愛知産業大学の大学祭=原山祭が開催されます。現役学生はもちろん、地域の皆さん、卒業生の方々など、全員一緒になって、熱く盛り上がりましょう!!

今年原山祭の更なるステップUPと自分たちを高めていきたいという意志を込め、「昇華」というテーマを掲げ、様々なイベントに力をいれています。参加型イベントが多数催されますので、ぜひ一緒になって楽しみましょう。また学内の装飾にも注目です。詳細については、愛知産業大学のwebサイトにてお知らせいたします。 URL▶ <http://www.asu.ac.jp/>

## 校友会企画 おとな原山祭 たまりバー

校友会では、卒業生同士の親睦促進や、在学生・大学との交流を目的とした企画事業を考えています。第7回は、恒例の原山祭にて校友会企画「おとな原山祭 たまりバー」を開催します。卒業生の過去もしくは現在の作品、活動を展示・報告するスペース「過去現在展」、卒業生が運営する飲食店、だれもがくつろげる憩いの場「たまりバー」、ライブ・ペインティングなどアートや音楽、フリーマーケットや卒業生ショップなど予定しています。卒業生の手で作上げた校友会オリジナルTシャツもプレゼント。ぜひ卒業生の方々にはご参加いただき、原山祭に足を運んでいただきますようお願いいたします。

- おとな原山祭……………10月22日(土)・23日(日)両日開催 10:00~17:00  
場 所/愛知産業大学 コミュニティホール1階・コミュニティホール前 バスロータリー
- Tamari Bar……………10月22日(土)・23日(日)両日開催 10:00~17:00  
場 所/愛知産業大学 コミュニティホール前 バスロータリー  
卒業生優先の休憩場所、待ち合わせ場所などとしてご利用ください。
- 平成23年校友会総会……………10月23日(日)12:30~13:00  
場 所/愛知産業大学 コミュニティホール前 バスロータリーステージ  
常任役員の紹介、校友会の活動報告を行ないます。卒業生の皆さまにご参加願います。

※内容は一部変更になることがあります。

### 出展者募集!

一人でも、卒業生のグループでも、モノ・コト問わず楽しい展示を実現しましょう。在学生・先生・卒業生同士のコミュニケーションやコラボレーションの場にも、お役立てください。概要詳細および、エントリーは校友会webサイトにて案内します。



# HARAYAMA FESTIVAL

卒業生の  
たまり場



2011.10/22.23

## Tamari Bar

■ コミュニティホール前 バスロータリー

校友会主催企画の基本コンセプト「卒業生がたまる場所づくり」の一環として、今年もTamari Barを開設します。各種ソフトドリンク、ノンアルコールカクテルなど、お好みで選び、気心の知れた同級生やゼミの先生とお話する場にご利用ください。同日同場所に「卒業生のイベント おとな原山祭」を予定しています。

詳しくは、校友会webサイト  
<http://www.asu-mate.com>  
(PC/携帯共通)でアナウンスします。



遠方から来られる卒業生の方々には、宿泊ホテルなどの案内もあります。

焼津市役所の建築職員として活躍する菊川岳浩さんと村松晋さんは、静岡県立焼津中央高校から愛知産業大学へ進学したという造形学部建築学科の2期生。まだ開学したばかりの大学で、自由な学生生活を謳歌しながら、建築への目標や志を育てていったようです。そんなお二人に、大学生活や公共建築に携わる公務員としての今を語っていただきました。

高校も大学も、そして職場も同じ。  
公共建築というフィールドで、ふるさとの安全を守る同志たち。



焼津市都市整備部  
住宅営繕課 営繕担当 主査  
村松 晋 (むらまつしん)

1974年10月9日生まれ。静岡県立焼津中央高校を卒業後、愛知産業大学造形学部建築学科に入学。ゼミは、城や神社仏閣の研究で名高い内藤研究室に所属。日本建築や茶室の研究に励む。学生生活の集大成となる卒業論文「河内家伝来数奇屋雛形の研究」は表彰されるという快挙。1997年には焼津市役所建築職員に。現在は、住宅営繕課で公共建築の工事の管理・調整に携わる。自宅ではやさしい顔をみせる一児のパパ。オフには菊川さん家族とバーベキューを楽しむことも。

焼津市教育委員会事務局  
教育総務課 営繕担当 主査  
菊川 岳浩 (きくがわ たけひろ)

1974年9月26日生まれ。静岡県立焼津中央高校を卒業後、愛知産業大学造形学部建築学科に入学。ゼミの担当教官は、現学長の小川先生。厳しくも温かい指導のもと、将来は都市計画に携わる仕事にと、目標を定める。1997年には焼津市役所建築職員に。現在は、教育委員会に所属し、学校建築の耐震事業等に携わる。2011年に一級建築士試験を突破。次なる目標は、建築主事資格の取得。東北大震災発生後、焼津市役所建築職員として気仙沼で支援活動も。

# Voices of DRUG

お互いに刺激し合いながら、  
将来の道を模索した高校時代

菊川：村松君とは、高校も大学も同じ。焼津市役所にも建築職員として採用されたのだから、20年以上同じ道を歩いている大切な仲間です。

村松：それが珍しくて、愛産大の校友会から取材されているのでしょう(笑)。菊川君は昔から、やんちゃで面白い奴だったから、ずいぶん影響を受けました。

菊川：僕は9月生まれ、村松君は10月生まれで、誕生日も近いしね。でも、村松君の優しさや真面目さは、いつまでたっても変わらない。それが焼津市役所に勤める公務員としての信頼につながっていると思う。

村松：それは言い過ぎ。僕は昔からのんびりした性格だから、高校3年になっても将来についてはっきりしたイメージはもっていませんでした。ところが菊川君は高校2年からデザイン系の大学をめざして、美術研究所に通っていたよね。

菊川：最初は剣道がやりたくて高校に入学したのだけど、オペラ部に頼まれて手伝っている間に、オペラや舞台の魅力にどんどんはまっていった。舞台のセットを企画したり、大道具を作ったりしながら、空間演出をやってみたいと考えようになりました。

村松：僕は絵を描くことも好きだったけど、日本史も好きで、どちらへ行こうかと漠然と考えていたのだけど、菊川君がデザイン系をめざすのなら、僕もそうしようかと、美術研究所に通い始めました。

菊川：美術研究所の仲間たちは、刺激的でユニークでしたな。

村松：そうそう、とてもオシャレ。サーファーだったり、パンク好きだったり、芸術家肌の人が多かった。正直、こんな世界もあるのかと驚かされましたが、あの時代があったから、今があるのでしょうね。振り返ってみれば、菊川君も含めて、僕は良い友達に恵まれた

と感じています。

菊川：大学も造形やデザイン関係、建築と受験したけど、最初に合格したのが、愛産大の造形学部建築学科。早々に入学を決め、村松君も来ればいいのと思っていたら、やっぱり愛産大に決めてくれた。うれしかったし、心強かったですね。

愛産大 2 期生として、  
自由を謳歌した大学生活

村松：僕たちが入学した1993年は、愛知産業大学が開学して2年目。それだけに自由な雰囲気があって、新鮮な学生生活でした。

菊川：僕たちのころは、学部や学科の垣根がなくて、建築学科の学生もデザイン関係の授業を受講することができました。1年次のシルクスクリーンや彫塑の実技の授業は、ほんとうに面白かった。

建築を造形学の観点から学んだことは、今、公共の建築物を担当する僕たちにとって、とても意義深いことだと思います。

村松：先生たちも個性派ぞろい。よく飲みに来て行ってもらいました。そんなところから先生の人生観や哲学を感じることができました。先生でありながら、少し年の離れた先輩のような親密さが、愛産大の魅力なんだと思います。

菊川：ほんとうにいるいるな先生がいて、多大な影響を受けました。

村松：彫塑の授業で、友達の彫塑を作ったのですが、それを夜、名鉄の線路沿いのアパートに並べたりして、ずいぶんいたずらもしたよね。岡崎の夜桜見物で盛り上がり、同じアパートの友達の部屋で飲み明かし、眠い目をこすりながら授業に出たりと、とにかく、「よく遊び」を実践した学生生活。

菊川君は大学祭の実行委員もやっていたよね。

菊川：そうそう。大学3年のとき、大学祭の実行委員と



菊川 岳浩 さん  
(造形学部建築学科・2期生)



村松 晋 さん  
(造形学部建築学科・2期生)

して、イベントを企画。当時はインターネットが普及し始めたころで、じゃあインターネットが「拓く世界について、パネルディスカッションをやってみようかと。最初の構想は壮大でしたが、なかなか中身がつかないかと、納得のいくものではありませんでした。でも企画から運営という一連の作業を経験したことは、後から考えれば、貴重な体験となりました。

村松: 僕も3年までパレ一部に所属して、愛産大の姉妹校と交流試合をしていましたが、体育会系とは程遠いのんびりした雰囲気だったから、純粋にパレを楽しむことができました。

#### 厳しくも温かい先生の指導 そんな授業から将来のビジョンを描く

村松: 建築学科では、内藤研究室で日本建築を学びました。もともと日本史が好きでしたから、日本建築史が勉強できたらいいなと。ところが内藤先生は、日本建築の分野では知人ぞ知る研究者。とても厳しい授業で、ついていくのが大変でした。

菊川: でも、村松君は卒業論文で表彰されているよね。村松: そんなことあったっけ。もう遠い昔のことだから、忘れちゃいました(笑)。

菊川: 卒業論文ではどんなこと研究したの?

村松: 鎌倉大工の旧家に伝わる茶室に関する建築書の研究をしました。建築書と言っても、寸法が記してあるだけのシンプルなものなので、それを読み解いて、図面に起こしました。建築学科の京都への研修旅行で、国宝の茶室「待庵」を見学したり、友人と犬山の茶室「如庵」も見学しましたが、図面を起こすためにも、その後の研究ためにも参考になりました。

菊川: そんな研修旅行、国内外を問わず、建築学科にはずいぶん用意されていましたね。学校の授業も重要ですが、研修旅行で建築はもちろん、建築を取り巻く

環境を体感することも大切ですよ。

村松: 菊川君は、昨年学長に就任された小川ゼミで都市計画を勉強していたよね。

菊川: 小川先生は、厳しくもあり、独特の雰囲気を持っている先生でした。都市計画の授業は、とても興味深く、2年、3年と進む間に、都市計画に携わるような仕事がしたいと思うようになりました。高校時代には空間演出をめざしていた僕ですが、大学での学びやいろいろな経験で目標も志も変わっていくものですね。とはいえ、小川先生との出会いが、都市計画をめざすきっかけになったと思います。

#### 自治体の建築職員として 公共建築の今後を担う人材に

菊川: 僕たちが就職活動をした当時は、ハルブが崩壊した厳しい時代でしたが、都市計画に携わる仕事をしたかったので、最初はコンサルを中心に就職活動をしました。ところが、土木系のコンサルが多く、途中から自治体も視野に入れて活動しました。僕は次男ですし、とりたてて地元へ帰る必要もなかったのですが、焼津市役所なら将来的に都市計画の仕事もできるかもしれないのでしたから。もちろん当時も公務員は狭き門でしたが、偶然僕たちが就職した1997年度に建築専門職の募集があったのです。運良く焼津市役所に就職することができました。

村松: 住宅をつくる仕事に就きたくて、伝統建築手がける大工の求人にも愛産大の友人と一緒に挑戦したのですが、結局は不合格。大工になるには、高校からでも遅いようです。そんなときに都市計画の田島先生から、「地元だし、菊川君も受けるから、焼津市役所はどうか」と言われました。そのころ、地元の住宅メーカーの就職試験も受かっていましたが、家族からもせつかく地元へ帰ってくるなら、公務員で頑張ってみたらどうかと、はっぱをかけられました。正直、受かるとは思っていませんでしたか…。

今は、住宅営繕課という部署で、公共建築の工事に携わる仕事をしています。

菊川: 役所の建築の仕事は、建築行政と住宅営繕の2つに大別されます。建築行政は、確認申請の審査や民間の建物の耐震補強の事業を進める部署。住宅営繕は、公共の建物を建築したり保全したりする仕事です。

村松君はずっと建築行政の仕事をしていましたが、今年から住宅営繕に配属されたんだよね。

村松: 住宅営繕課の初仕事で、去年まで、菊川君が担当していた黒石小学校の耐震補強の工事の管理や調整です。

菊川: 同じ焼津市役所と言っても、僕は教育委員会で、村松君は住宅営繕だから、職場で顔を合わせることは滅多にないのだけれど、黒石小学校のように同じ仕事を担当できるのは、同じ愛産大OBとしてうれしーいからですね。

村松: 住宅営繕の仕事は、建築行政とはまるで畑が違い、戸惑うことも多いのですが、菊川君が手がけた物件だから、菊川君にアドバイスをもらうこともできるし、職場の上司や先輩も丁寧に指導してくださいますから、助かります。大工を志望していたくらいですから、工事に関わることができる日々は、充実しています。職場には恵まれています。

菊川: だったら、焼津市役所を勧めてくれた田島先生に感謝しなくちゃね。田島先生は仕事で静岡方面へいらっしゃったときに、焼津市役所まで僕たちを訪ねてきてくれたこともありました。

村松: ありがたいことですね。学長の小川先生も、岡崎市や岐阜市の都市計画の分野で活躍されているようです。大学を卒業して10年以上たちますが、先生の活躍ぶりはやはり気になります。

菊川: そうですね。いつかは一緒に仕事してみたいものですね。

#### 魚のうまさは天下逸品 ふるさと焼津を活力あふれた街に

村松: ここで僕たちのふるさと焼津の紹介をさせていただきます。焼津市の基幹産業はなんといっても水産業です。市内には、焼津漁港と大井川漁港があります。焼津漁港には、遠洋漁業の焼津港と沖合沿岸漁業の小川港の2つの港があり、両港で年間19万9千トン、441億円(2007年データ)を超える水揚げがあります。中でもカツオは水揚げ日本一。

菊川: カツオの刺身はもちろんですが、獲れたてのサバやイワシは、一度食べたら忘れられないほどのおいしさです。「焼津さかなセンター」には、魚屋約70店舗が軒を並べていますが、新鮮な魚を求め、県内外から多くの人々が訪れます。また、焼津漁港の後背地や水

産加工団地などで地元や輸入・移入の原魚を使って盛んに行われ、練製品や節類、冷凍食品など約7万トンの生産高を誇っています。カツオ節、なまり節、削り節の製造も国内中堅どころの企業が数多く、特になると巻きの生産は日本一。

村松: 魚と水のおいしさは、焼津のふるさと自慢ですが、同じように水産業を基幹産業とする東北大震災の窮状は、痛ましいものでした。菊川君は、焼津市役所の建築職員として気仙沼へ応援に出かけたのでしょうか。

菊川: 港も公共施設も無残な姿でした。そんな中でも印象に残っているのが、ある男性との出会い。「せっかく支援に来てくれたのだから、ご馳走したい」と言われたときに、東北人の芯の強さと温かさを感じました。村松: 東日本大震災以降、公共建築物の津波対策を抜本的に見直す動きがありますが、だからこそ、僕たちも公共建築を担当する公務員として頑張っていきたいものです。

菊川: たしかに険しい道だけど、だからこそやりがいもあると思う。焼津の安全を守り、活力あふれた街づくりをめざして、お互いこれからも切磋琢磨しながら、共に頑張りましょう。



表現の自由度の高い映像の世界で、  
いつかは誰もが納得する傑作を創りたい。



株式会社テレビシティ／名古屋市

大矢 貴久（おおや たかひさ）

1975年7月6日生まれ。愛知県安城市出身。愛知産業大学では、映像のゼミを専攻。卒業後、名古屋の映像制作会社の「70プロダクション」を経て「テレビシティ」へ。一貫して編集を担当し、現在は主任としてCMやテレビ番組の編集を手掛ける。時には徹夜が続くが、作品が完成した時の喜びはひとしお。オフには、愛産大OGが経営する鶏唐とダーツの店「Dining bar AA」でダーツと会話を楽しみ、休日には愛車を駆ってドライブへ出かける日々を過ごす。

## OB通信 | 卒業生の声

大矢 貴久 さん  
(造形学部 産業デザイン学科卒・3期生)

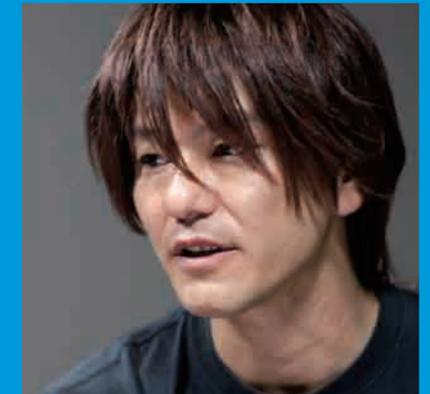
絵を描くことが得意でしたから、迷わず愛知産業大学に入学しました。専攻は産業デザイン。クリエイティブを目指す同期生たちはキャラの濃いやつばかりでしたから、ずいぶん刺激的な学生生活でした。一人暮らしをしている友達の下宿でお酒を飲みながら、クリエイティブ談議で熱くなったり、単車でツーリングをしたりと、とにかく、よく遊びました。そんな僕が映像の世界へシフトを切ったのは、1本のミュージッククリップとの出会い。音楽と映像のコラボレーションの素晴らしさに、ビビッときました。母親が大の映画好きで、10歳の頃から映画漬けの生活を過ごしていましたから、そんな影響もあったのかもしれませんが、ですから、当然ゼミも映像を専攻。元広告マンの藤田先生の授業は、発想が社大で面白かったですね。授業でCMのコンテを制作したり、大学の編集室の機材をいじり倒したりと、映像の面白さにのめり込んでいきました。卒業制作では、ミュージッククリップタイプの映像を制作しましたが、撮影や音響など、ずいぶん仲間に手伝ってもらいました。そんな体験が、現在、映像の制作会社で働く僕のベース。映像の世界は、演出家をはじめ、カメラクルーや技術スタッフとのチームワークが基本ですが、そんなチームワークの大切さも実感した学生生活でした。

僕たち3期生が卒業した1999年は、バブルが崩壊し、就職も厳しい時代でした。グラフィックの制作会社はたくさんあり比較的採用も多かったのですが、映像関係の会社は少なかったため、映像系を目指す僕にとって、就職は狭き門。ところが就職浪人わずか1カ月ほどで、名古屋の映像制作会社「70プロダクション」に就職することができました。ここでは愛産大の2期生がすでに演出家として活躍してお

り、新入社員の登竜門ともいえるテレビの音楽番組を先輩と一緒に制作しました。ずいぶんかわいがってもらいましたね。そんな僕たちの働きぶりが評価されたのだと思います(笑)。僕の後も4期生、5期生と入社するようになりました。

70プロダクションで僕が担当していた仕事は編集です。編集の仕事は料理に例えると、最後の味付けです。どんなに素晴らしい素材でも、最後の味付けを失敗すると、せっかくの料理が台無しになるように、編集も、作品を最終段階でブラッシュアップさせる大切な仕事です。映像の色を調整したり、実写とCGを合成させたりと、完全な裏方で、時には徹夜をすることがありますが、とても面白い仕事です。僕が入社した当時は、ビデオ編集がアナログからデジタルへ移行する時期でしかたら、両方の技術を体得することができました。当時の名古屋で、僕は、数少ないノンリニア、つまりデジタルの編集オペレーターだったので、70プロダクションが倒産した後も、テレビシティにすぐ就職できたのは、ノンリニアの技能が評価されたに他なりません。映像の世界で働くようになってから、14年の歳月が経ちましたが、CMや番組などで、僕の作品だといえるような自信作がようやく生まれるようになりました。

映像の面白さは、正解がないことです。同じ映像作品でも見る人によって、感じ方がまるで違ってしまふ。それだけに、表現の自由度が高く、奥が深い世界だといえます。そんな映像の世界で不朽の名作と言われる作品を創ることが、僕の目標です。クリエイターとして、10人が10人、納得する作品を、いつかは創りあげたいと思っています。



## 平成 23 年度 役員会報告

### 平成 23 年度校友会活動報告

1. 平成23年度臨時役員会……………H23/4/24・8/19
2. 平成23年度役員会……………H23/6/18
3. 平成23年度総会……………H23/10/23
4. 校友会会報誌発行……………H23/9/12

### 平成 22 年度会計報告

#### 「収入の部」

前年度(平成21年度)繰越……………	¥52,724,288
入会費(平成22年度入学生数+3年次編入学生×¥4,000)	
造形学部・経営学部 255名……………	¥1,020,000
同窓会費(平成22年度在籍者数×¥5,000)	
造形学部・経営学部 884名……………	¥4,420,000
校友会育英・奨学金返還金	
H22/4/1~H23/3/31 月々¥25,000……………	¥500,000
収入の部 計……………	¥58,664,288

#### 「支出の部」

広報事業費……………	¥2,100,000
企画事業費……………	¥2,000,000
情報事業費……………	¥384,812
校友会育英・奨学……………	¥0
事務費……………	¥270,136
備品購入費……………	¥0
支出の部 計……………	¥4,754,948
「合計」	
収入の部 計……………	¥58,644,288
支出の部 計……………	¥4,754,948
合計……………	¥53,909,340

### 平成 23 年度校友会予算案

#### 「収入の部」

前年度(平成22年度)繰越……………	¥53,909,340
入会費(平成23年度入学生数+3年次編入学生×¥4,000)	
造形学部 118名……………	¥472,000
経営学部 99名……………	¥396,000
同窓会費(平成23年度在籍者数×¥5,000)	
造形学部 427名……………	¥2,135,000
経営学部 445名……………	¥2,225,000
校友会育英・奨学金返還金……………	¥0
収入の部 計……………	¥59,137,340

※入会金は4月16日、同窓会費は5月1日調べの入学者数、在籍者数。

#### 「支出の部」

広報事業費……………	¥2,550,000
企画事業費……………	¥2,500,000
情報事業費……………	¥1,750,000
育英・奨学金……………	¥1,200,000
東日本大震災被災会委員支援費……………	¥1,000,000
事務費……………	¥500,000
備品購入費……………	¥50,000
支出の部 計……………	¥9,550,000
「合計」	
収入の部 計……………	¥59,137,340
支出の部 計……………	¥9,550,000
合計……………	¥49,587,340

### 平成 23 年度校友会活動計画

1. 広報事業計画 校友会会報誌「ASU communication vol.9」
  2. 企画事業計画 大学祭参加企画 卒業生の作品・イベント Tamar Bar 懇親会
  3. 情報事業計画 校友会webサイト、リニューアル、メールマガジンシステム開発
  4. 校友会育英・奨学金制度 校友会が育英基金を出資し運営します。
  5. 東日本大震災被災会員への支援
- (詳しくは校友会webサイト <http://www.asu-mate.com>まで)

### 平成 23 年度校友会 役員・常任役員

#### 常任役員

会長……………	水野広大(第12期生)
副会長……………	嘉森大介(第12期生)
……………	森谷 誠(第9期生)
……………	門井由佳(第1期生)
書記……………	菊池多江子(第14期生)
会計……………	廣瀬伸行(第3期生)
会計監事……………	宇佐美 良太(第3期生)
……………	(新)内藤 萌(第13期生)
幹事長……………	金刺健太(第10期生)
幹事……………	植松 徹(第15期生)
……………	林 享(第12期生)
……………	河合杏子(第13期生)
……………	大西真由美(第14期生)
……………	榎本 晋(第11期生)
……………	近藤貴樹(第15期生)
……………	(新)森本達也(第1期生)
……………	(新)上村大輔(第9期生)
……………	(新)鈴木健太(第10期生)
……………	(新)原田俊司(第16期生)
相談役……………	井原 勇(第2期生)
参与……………	三岡早苗(第13期生)
……………	榊原 翔(第15期生)
……………	村井昭夫(第10期生)
……………	吉田 麗(第7期生)

#### 他正会員

第2期生……………	菊川岳浩
第3期生……………	檀 正宏
……………	関 辰昭
第4期生……………	浅野和寛
……………	白石 英
第6期生……………	中村領介
第7期生……………	堀 洋嘉
第8期生……………	前田和寿
第9期生……………	清水貴信
……………	杉原亘一
第16期生……………	(新)西田悠真
……………	(新)鈴木基介
……………	(新)山下祐之介
……………	(新)北井美希

#### 特別会員

理事長(オブザーバー)……………	小倉紀彦 先生
学長……………	小川英明 先生
研究科長……………	小川英明 先生
造形学部長……………	石川 清 先生
経営学部長……………	大濱慶和 先生
建築学部長……………	石川 清 先生
デザイン学部長……………	木村 光 先生
総合経営学部長……………	吉田 修 先生
事務局長……………	木藤新吾 先生
学生委員会委員長……………	後藤浩史 先生
教務学生課長……………	原 知之 先生
教務学生課係長……………	金澤啓治 先生
校友会顧問……………	岩田政巳 先生

#### 校友会組織

広報委員会……………	門井由佳
企画委員会……………	金刺健太・森谷 誠
情報委員会……………	廣瀬伸行・宇佐美 良太
事務委員会……………	廣瀬伸行(名簿管理・会計管理)
同窓会委員会……………	村井昭夫

### 愛知産業大学校友会 育英・奨学金の概要

<p><b>対 象:</b> 愛知産業大学学生で、成績優秀、品行方正にして、かつ経済的事情のために就学困難と認められる者に対して、奨学金を貸与(無利子)します。</p> <p><b>定 員:</b> 年間2名</p> <p><b>貸与金額:</b> 50,000円(月額)</p> <p><b>採用条件:</b> 対象条件に該当する者で、各学科長の推薦を受けた者。原則、日本学生支援機構奨学金を受けていない者。</p>	<p>3・4年生を対象とする。(応募多数の場合は4年生を優先する)連帯保証人を必要とする。</p> <p><b>選考方法:</b> 奨学金の決定は、提出された奨学金願書に基づき、審査委員会で審議し決定する。</p> <p><b>返済方法:</b> 原則、卒業後2年以内とする。(無利子)ただし、大学院等への進学者については、返済を猶予する。</p>
---	--